第4次大和路情報ハイウェイ回線サービスの調達に係る提案書評価表

番号	評価対象内容	項　　目	提案を求める内容	判断基準	項目評価点	項目加重点	項目技術点	技術点合計
1	業務履行能力	体制	・プロジェクト体制 ・プロジェクト責任者の経験及び保有資格	①構築体制及び運用保守体制について記載すること ②統括責任者、構築責任者及び運用保守責任者それぞれ１名（複数の場合は代表１名）について、本役務に関わる経験年数並びに保有資格を記載すること。なお、各責任者は兼務することも可能とする ③要員が交代する場合の研修、引き継ぎの方法について記載すること	10	5	50	200
2		類似契約実績	・過去５年間の受注名称及び概要	①過去５年間の回線サービス提供実績について記載すること なお、閉域網であるかどうか及び契約規模は問わない。また、実績は最大５件までとする。（６件以上の実績を挙げた場合、本項目は評価しない） ②契約書の写し又は契約実績が確認できる資料を添付すること なお、契約書の写し又は契約実績が確認できる資料だけでは契約内容がわかりにくい場合は、仕様書の写し等、回線サービス提供であることがわかる資料を添付すること	10	5	50	
3		スケジュール	・スケジュール ・作業分担	①第４次大和路情報ハイウェイ整備から運用開始までのスケジュール及び自社と県の作業分担について記載すること なお、スケジュールには現行の大和路情報ハイウェイの事前調査及び現状分析に要する期間並びに進捗状況を報告するタイミングを明確にすること	10	10	100	
4	仕様要件	仕様書の理解度	・調達内容、目的	①仕様書を踏まえた上で、自社が構築する第４次大和路情報ハイウェイ回線サービスの特徴、アピールポイントについて記載すること	10	5	50	850
5		回線要件	・信頼性 ・安全性	①災害時等でも通信を可能とするため、自社が構築する第４次大和路情報ハイウェイが信頼性・可用性の高いネットワーク構成であることを全体ネットワーク構成図を示して提案すること	10	20	200	
6			・回線二重化	①異経路で回線二重化を行う奈良データセンターと本庁間の回線並びに南部・東部拠点の県出先機関及び市町村のアクセス回線について、ネットワーク構成図を示して特徴を記載すること。なお、同一経路区間は極力少なくなるように構築するものとし、やむを得ず同一経路を通る区間がある場合は、その総延長を記載すること	10	20	200	
7			・切替時間	①奈良データセンターと本庁間の回線及び二重化したアクセス回線において、障害時における別ルートへの切替時間について記載すること	10	5	50	
8		機器要件	・奈良データセンター及び本庁に設置する機器	①第４次大和路情報ハイウェイで使用する、奈良データセンター及び本庁に設置する機器の信頼性及び可用性について構成図を示して記載すること ②機器障害時の対応方法について提案すること	10	10	100	
9			・拠点に設置する機器	①第４次大和路情報ハイウェイで使用する、各拠点に設置する機器の信頼性及び可用性について構成図を示して記載すること ②機器障害時の対応方法について提案すること	10	10	100	
10		移行要件	・移行要件	①ネットワーク移行に際しては、業務に極力影響を与えないように配慮することとし、ネットワーク移行手法及び停止時間について提案すること ②切り戻しの判断基準及び切り戻しが発生した際の対応方法について、切り戻しに要する時間と併せて提案すること	10	10	100	
11		拡張性	・拡張性	①アクセス回線増減速について、南部・東部拠点が100Mbps、南部・東部拠点以外の拠点が1Gbpsに主回線をそれぞれ変更する場合に、申し出があってから実際に設定するまでにかかる期間について、それ以上長くなることがないと保証する最長の期間を南部・東部拠点及び南部・東部拠点以外の拠点について、それぞれ記載すること 【提案書記載例】 　増減速にかかる期間は南部・東部拠点で最長〇ヶ月、南部・東部拠点以外の拠点で最長△ヶ月です。	10	5	50	

第4次大和路情報ハイウェイ回線サービスの調達に係る提案書評価表

番号	評価対象内容	項　　目	提案を求める内容	判断基準	項目評価点	項目加重点	項目技術点	技術点合計
12	運用保守要件	運用保守要件	・SLA	①運用保守実施にあたって、サービスレベル維持・向上を目的として、別添「SLAの締結及び提案について」に従い、サービスレベル（案）を提案すること ②サービスレベルが達成できなかった場合の対応方法について提案すること	10	20	200	700
13			・監視要件	①監視可能な項目、特徴について記載すること ②監視センターのセキュリティ対策について記載すること ③監視要員の人数及びそれぞれの監視業務経験年数を記載すること	10	10	100	
14			・運用保守内容	①ある拠点から送信元でのユニキャストへの変更が困難なマルチキャスト通信が発生し、第４次大和路情報ハイウェイ内に当該通信を受信する必要がある拠点とない拠点が混在する場合に、当該通信を受信する必要がない拠点の帯域消費を軽減するために第４次大和路情報ハイウェイで可能な対応方法を記載すること ②ネットワークの安定稼働に有効な予防保全方法について提案すること	10	10	100	
15			・運用保守範囲	①各拠点における、責任分界点以降の拠点内設備でのネットワーク障害への復旧支援内容について提案すること	10	25	250	
16		次期調達	・支援内容	①第４次大和路情報ハイウェイから次期の大和路情報ハイウェイ又はそれに相当する回線サービスへと移行する際の無償の範囲内での移行支援内容を提案すること	10	5	50	
17	その他	契約延長	・契約条件	①第４次大和路情報ハイウェイを契約延長する場合に調達時点で保証可能な延長期間について提案すること ②第４次大和路情報ハイウェイを契約延長する場合にどの程度の費用の増加が見込まれるか記載すること	10	5	50	100
18		関係単価	・県の入札金額に現れない項目の単価	①県以外の団体が利用するサービス項目に係るが、県の入札金額に関係しない項目の単価について第４次大和路情報ハイウェイ回線サービスの調達に係る単価一覧（様式A-2）にて提案すること ②UPS、CEルータ、CEスイッチの最低利用期間を明示すると共に、最低利用期間より短期間での契約可否とその条件を提案すること	10	5	50	
19	独自提案	独自提案	・その他	①今回の費用の範囲内で本調達仕様書以外で、県の負担軽減、経費削減等の自社の独自提案がある場合は提案すること	10	15	150	150
								2000

※仕様書『1.5 回線サービス範囲』の②に記載する奈良データセンターの代わりに受注者が用意するデータセンターを利用する場合は、
本表各項の『奈良データセンター』を『受託者が用意するデータセンター』と読み替えること